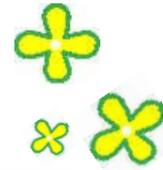


菜の花だより

2011年春号
平成23年4月25日発行



医療法人社団 幹人会 理事長

玉木 一弘



人は皆誰もが人生の晩年は、孫子に囲まれながら、我が家の畳の上で看取られ全うしたいと望まれます。しかしながら、高齢化の進む現代の日本でそれが自己完結できる家族は2割にも満たないだろうと言われています。それは小子化、核家族化、女性の社会進出、価値観の多様化など様々な理由で語られていますが、気がついたら看取りの基盤としての家族の実態がそこに無かったということです。さすれば、私たちは、長男が、あるいは嫁が看取ると言う固定概念から脱却して、個々の境遇で足りない部分を補完しあい、相互に、あるいは地域で個々を看取り合うという仕組みを模索せざるを得ません。2000年春に始まった介護保険制度はそうした思いの具体化ではありますが、このご時世、いつか、誰かが、何とかしてくれて日本中どこでも金太郎飴のように同じ幸せが約束されるとは限りません。

もし皆さんが朝目覚めたとき、突然半身の麻痺に襲われていたら。障害を持った自分を受け入れ、自立した日常生活と社会参加を達成するという意欲をもって、新しい自分に生まれ変わるまでに、どれだけの心のエネルギーが必要でしょうか。もし独り暮らしだったら、もし核家族だったら。迷いや失意のうちに時が過ぎれば障害は固定してしまいます。リハビリテーションの目的は、身体だけでなく、心を含めた全人的な再生を果たすことにあります。サービスに係るすべての者が、そのリハビリテーションゴールをご本人ご家族と共有します。ケアネジャーは個別のケアプランにより各職がゴールに向かって何をすべきかを設計します。復帰への意欲を支え、24時間、生活の一こま一こま全てリハビリとなるよう連携しゴールを目指します。

ご家庭に復帰されても多機能サービスを提供しリハビリを維持します。ひとつの目標が達成されれば、私たちは次の目標を共有します。

障害やリハビリゴールはお独りお一人千差万別ですが、障害をもって生活や社会に復帰するノーマライゼーションの多様な手段の提供と、お独りお一人を再び迎え入れる社会環境の整備を、皆さんとともに達成してゆくことが私たちの使命と肝に銘じております。

施設サービスとしての介護老人保健施設は、加齢や脳血管障害等の後遺症、認知症等により生活障害を被られたご高齢者が、日常生活や社会への復帰を計り、入・通所の機動的な利用により、その能力を維持し、また介護にあたるご家族の負担を軽減することを目的とした、「家庭や地域社会への復帰支援施設」です。

一昨年秋に開設した「ユニット型老健」は利用者様となじみの職員が、少人数単位で、暮らしを共にしながら、自律的な療養と、個別性に富んだケアを提供すべく計画されたものです。

「菜の花クリニック（歯科）」では、もうひとつのテーマとして、歯科を併設し、一般歯科診療のほか、わが国ではまだ立ち遅れている、咀嚼・嚥下機能の維持向上提供について、日大歯学部咀嚼嚥下機能教室の支援を得て、生活の質と介護予防の根幹である、食べる喜びと、栄養の確保に着目した専門的取り組みを行っています。

私ども医療法人社団幹人会は、「利用者本位で身体拘束の無い施設運営」、「外部評価に耐えるサービスの質の維持」「全人的リハビリテーションの提供」「家庭や地域社会への復帰支援」「復帰後のご家族の負担軽減や多機能サービスの提供」を、目標として、今後もより良いサービスを提供致します。

羽村市駅伝大会 女子チーム4位入賞!



3月6日(日)、羽村市駅伝大会が開催されました。幹人会からは、男子2チーム(菜の花ファイターズA・B)・女子1チーム(菜の花ママーズ)が出場し、女子チームが快走の末、みごと4位入賞を果たしました。男子も健闘しましたが、スタート順の不運も重なり、残念ながら満足のいく結果は得られませんでした。男子チームは大会後の打ち上げで、来年のリベンジを誓っていました。



反省会という名の飲み会
(福生クリニックデイにて)

ユニット菜の花通信(通所リハ)

3月3日 ひな祭り



〈作品紹介〉

秋に松ぼっくりやドングリに顔を付けて、飾り付けてみました。作品それぞれの表情が可愛らしいです。

スタッフ紹介

こんにちは。
ユニット菜の花通所リハビリテーションの課長をさせていただいています、小山と申します。
利用者様のペースに合わせて、その方が何を求めているかゆつくり対話しながら関わって生きたいと思えます。私自身、歌が好きなので、昔懐かしい歌や音楽を通して楽しみを増やしていきたいと思えます。(音楽レク、リズム遊び等を得意とします)
利用者様の笑顔が絶えない通所リハを目指します。



編集後記

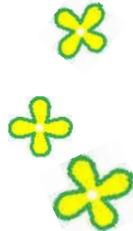
3月11日の震災発生以降、計画停電やガソリン不足の影響で一部サービスに支障をきたし、利用者の皆様にご不便、ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

幹人会では各委員会や、様々な活動を行っており、この「菜の花だより」発行もIT・広報委員会の活動の一つです。

皆様に安心してご利用頂ける施設を目指し、今後も様々な情報を発信していきます。

医療法人社団幹人会 IT・広報委員会

介護老人保健施設菜の花新施設長に 小室 勝利医師 就任



平成23年3月21日、介護老人保健施設菜の花施設長に小室勝利医師が就任しました。小室医師は平成20年4月より菜の花の常勤医師として、今日まで入所・通所利用者様の医学的管理と、職員の健康管理業務を担ってきました。

施設長就任にあたって

介護老人保健施設 菜の花
施設長 小室 勝利



初春の候、皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、私儀、この度難波眞前施設長退職にあたり、後任として介護老人保健施設「菜の花」施設長に就任いたしました。当施設の医師として勤務3年が経過いたしました。この間、法人理事長はじめ前施設長のもとで、職員全員がすばらしい陋見に育て上げて来た事を目のあたりにして、先人の苦勞と努力に敬意を払いつつ、勤めさせていただいておりました。施設長として先人の成果を引き継ぐことにいささか戸惑いを感じましたが、医療法人社団幹人会の基本方針、基本理念をより自分のものとするべき大任を引き受けさせていただく事を決心いたしました。

社会的にも老健の置かれている立場は、必ずしも満足のいく状況にはありませんが、私共職員全員が、基本方針、基本理念のもとに、地域のお年寄りの方々に可能な限りの協力ができればと考えております。微力ではありますが、医療・介護を通して地域医療に専心する所存です。何とぞ、今までと変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

私が娘に伝えた自然の営みからの教を述べ、所信としたいと存じます。

「私の生まれは五日市です。五日市方面では、庭に柏の木のある家が多く見られ、私の家には3本あります。柏の木は、前年の葉が次の年に芽生えた葉が成長するまで残り、共に一時期を同じ枝で生活するとのことで、縁起の良い木として植えられています。今から35年位前のことですが、夏に猛暑が続き、300年以上生きてきた柏の老木が活気を失いました。その年の秋には、その老木は例年にドングリを実らせ、翌年春には例年になく多く発芽しました。私はその内の2本を植え替え育てました。今はこの2本とも立派に育ち、ドングリを実らせる程の木に成長しています。その後、老木も復活し、今では以前の様な活気を取り戻しています。老木のおかれている環境は、周囲にモチ、松、柿、桐の木が生い繁り、互いに陽光を求めて競い合っていました。今は皆、元気に共存しています。老木からドングリには見知らぬ方法でより芽生える旨のメッセージが伝わっていたのではないかと落ちたドングリは、このメッセージを何らかの方法で悟り、より多くの発芽となったのではないかと若木の成長を見守った老木は、若木からのメッセージを受け取り、再び活力を取り戻したのではないかといつも競い合った周囲の木々は、この老木のために厳しい陽光を遮り、老木を助けたのではないかと等々、様々のことを考えさせられました。」

メッセージの伝達者となり、活気を失いつつある老木の支えとなる環境整備に努めていきたいと思っています。

私の娘も二人、成長致しました。

4月の行事食



豆ご飯
天ぷら盛り合わせ
春野菜の煮物
ごみ胡麻風味
フルーツ盛り合わせ



日本ではお釈迦様の誕生会といわれる4月8日にその誕生を祝って各地のお寺で「灌仏会」、「仏生会」、「竜華会」などと呼ばれる行事を行います。春まっさかりで、「花まつり」ともいわれるようになりました。お釈迦さまがお生まれになったとき、九頭の竜が天から香ばしい水(甘露)を吐いて、お釈迦さまに産湯を使わせた・・・という言い伝えがあります。



佐久間管理栄養士と栄養課の皆さん

東日本大震災で被災された皆様へ

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。医療法人社団幹人会は義援金の協力、災害ボランティア参加等の活動を行っています。また各事業所において、被災地より避難された要介護者の方の利用を受けつけております。詳しくは各事業所へお問い合わせ下さい。

医療法人社団 幹人会

瑞穂町事業所

老健菜の花 TEL042-568-5111

ユニット菜の花 TEL042-557-7915

菜の花訪問看護ステーション TEL042-568-0332

居宅介護支援事業所菜の花 TEL042-568-0345

菜の花クリニック TEL042-557-7995

福生事業所

福生クリニック TEL042-551-2312

通所リハビリテーション TEL042-539-7175

居宅介護支援事業所 TEL042-539-7175